文の　しくみ　①

赤い　文字の　ことばが　どのような　ことを　言(い)って　いるのか　考(かんが)えましょう。

赤い　バラが　きれいに　さいた。

なに
何が　どのように

きのう　ぼくは　公園(こうえん)で　あそんだ。

いつ　どこで

文ぼうぐやで　色(いろ)えんぴつを　三本　買(か)った。

なに
何を　どうした

文の　しくみ　②

文を　書(か)く　とき、ことばの　じゅんばんに　気を　つけましょう。

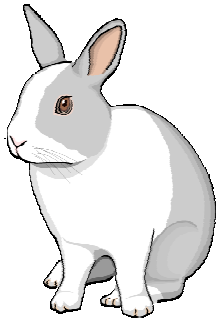
とびうおは、とぶことが　ふつうの　魚(さかな)は、できるのです。
およぐだけですが、水の中を　空中を

ふつうの魚(さかな)は、水の中を　およぐだけですが、
とびうおは、空中を　とぶことが　できるのです。

文の形 ①

赤い　文字の　ことばが　どのような　ことを　言(い)って　いるか　考(かんが)えましょう。

うさぎは　どうぶつだ。→　何(なん)だ
うさぎが　はねる。　→　どうする
うさぎは　白い。　→　どんなだ



文には、もとに　なる　三つの　形(かたち)が　あります。

何(なに)が（は）何(なん)だ。　→　ぼくは　三年生だ。
何(なに)が（は）どうする。　→　犬が　ほえる。
何(なに)が（は）どんなだ。　→　空が　青い。

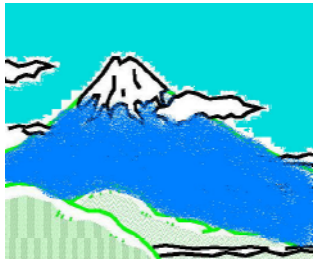
文の形　②

つぎの　それぞれの　文を　三つの　形(かたち)に　分(わ)けて　みましょう。

わたしの　つくえは　とても　大きい。

→何(なに)が（は）　どんなだ

あれが　ゆうめいな　富士山(ふじさん)です。



→何(なに)が（は）　何(なに)だ

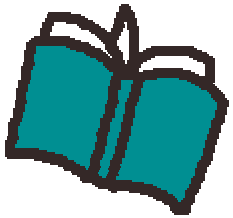
みんなが　どっと　わらった。

→何(なに)が（は）　どうする

かざりことば ①

ようすなどを　あらわす　ことばを　つけくわえると、ほかの ことばを　くわしく　せつめいする　ことが　できます。
このような　ことばを　「かざりことば」と　いいます。

- 空に　白い　くもが　うかんで　います。
  「白い」は　「雲(くも)」の　色(いろ)を　くわしく　せつめい して　います。



- きのう　本を　買(か)いました。
  「きのう」は　いつ　買ったのかを　くわしく せつめい　して　います。

かざりことば ②

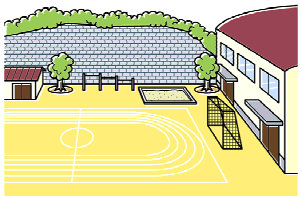
ものの　なまえを　くわしく　せつめいする　ことばを　おぼえましょう。

- 丸(まる)い　月が　出た。

- きれいな　花が　さいた。

- むずかしい　もんだいに　こたえる。
- つめたい　アイスクリームを　食(た)べる。

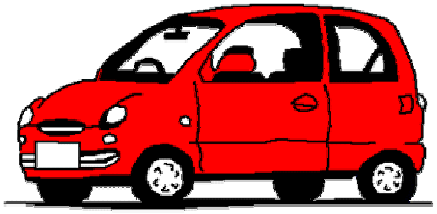
- 広(ひろ)い　校ていで　あそぶ。



かざりことば ③

どうさを　くわしく　せつめいする　ことばを　おぼえましょう。

- 車が　ゆっくり　走(はし)る



- じょうずに　歌(うた)う

- はやく　おきる

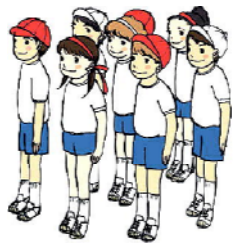
- 元気(げんき)に　あそぶ

かざりことば ④

どの　ことばを　くわしく　せつめいして　いるか　考(かんが)えましょう。

- ここで、しばらく　休もう。

- とても　おもしろい　本です。
- もっと　きちんと　ならびなさい。



- やっと　しゅくだいが　おわった。

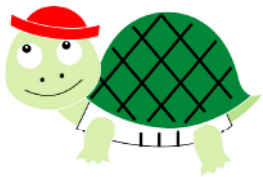
かざりことば ⑤

音や　うごきを　あらわす　ことばが　どの　ことばを
くわしく　せつめいして　いるか　考(かんが)えましょう。

- かみなりが　ゴロゴロと　なった。

- 戸(と)を　トントン　たたく。

- あせが　たらたら　ながれて　くる。



- かめが　のそのそ　歩(ある)いて　いる。

- お寺(てら)の　かねが　ゴーンと　なった。